

令和6年産 麦類技術情報 第1号

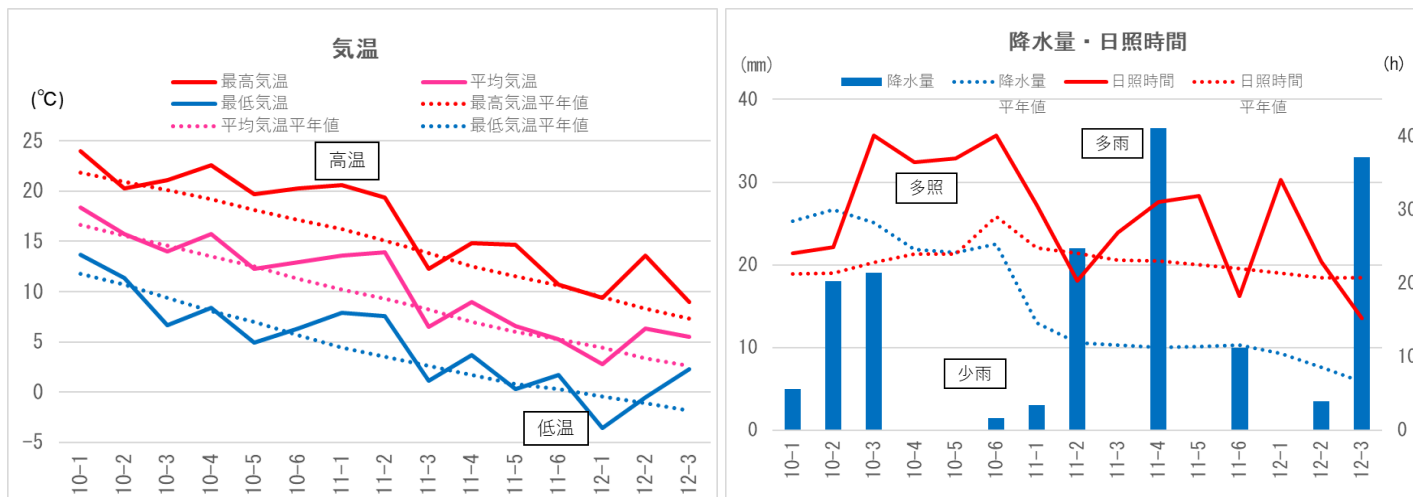
令和5年 12月20日 宮城県美里農業改良普及センター

Tel 0229-32-3115 Fax 0229-32-2225

URL <https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



1 気象経過 (10月第1半旬～ アメダス鹿島台)



一時的な低温はありましたが、おおむね高温で推移しました。
 散発的な降雨はあるものの、期間全体では日照時間が長く、特に10月中は日照時間が平年比143%と晴天の日が多くなりました。

2 生育調査ほ生育概況

表1 小麦生育調査結果

品種	地区	区分	播種日	条間 (cm)	12月15日	
					草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)
シラネコムギ	大崎市 鹿島台	本年値	10/26	22.0	14.4	554.5
		前年比・差	+12	88%	121%	56%
		平年比・差	-20	89%	192%	99%
夏黄金	涌谷町	本年値	10/23	22.4	12.4	421.9
		前年比・差	-5	102%	120%	133%
		平年比・差	-11	106%	140%	129%

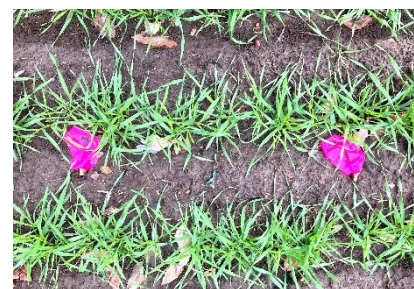


図1 シラネコムギ調査ほ (12月19日)

※平年値は過去5年間の平均。

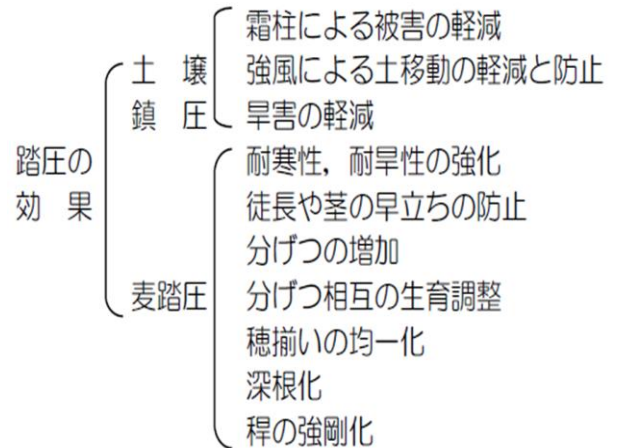
12月15日調査では、シラネコムギ、夏黄金とも、平年並みから平年を上回る草丈・茎数です。年内の目標生育量(茎数400～500本/m²、葉数4～5枚)を確保しており、順調に生育しています。

管内全体では、麦単作、水稻後作の多くのほ場は、播種が平年より早かったこともあり、越冬前生育量を確保できています。大豆後作のほ場は、大豆の刈り取り時期が遅れた影響で、出芽・生育が遅れ気味です。

3 今後の管理について

(1) 麦踏み

- ・麦踏みの効果は右図を参照してください。
乾燥, 強風, 暖冬時に高い効果があります。
- ・過湿条件、重粘土壌では土が締まり、生育を阻害する場合がありますので、必ず乾いた条件で行いましょう。
- ・離乳期(3~4 葉期)から茎立ち前(主稈長 2cm, 幼穂長 2mm 程度)まで、越冬前に 1 回, 越冬後に 1~2 回実施を基本とします。

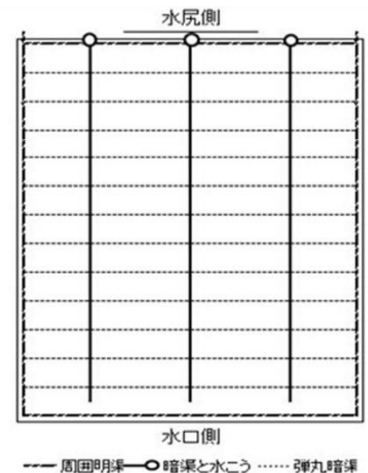


- 特に播種の早いほ場では、生育が旺盛で茎数過剰のほ場も見られます。生育が進み早くに幼穂ができてしまうと凍霜害のリスクとなりますので、ほ場が乾いた日には積極的に麦踏みを行い、生育を抑制してください。
- 大豆あとなど播種が遅く、生育が遅れているほ場では、越冬前の麦踏みは控え初期生育の確保を優先しましょう。

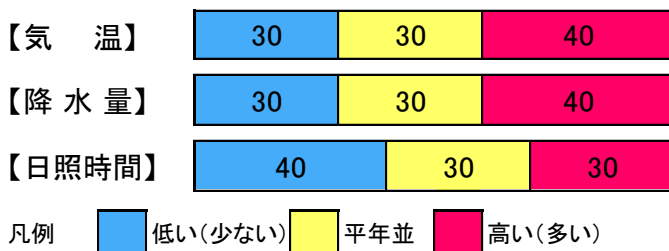
(2) 排水対策

根の伸長抑制や浅根化による分けつ減少, 葉の黄化等などの麦の湿害を防ぐだけでなく、麦踏みや追肥等の作業を適期に行うためにも大切です！！

- ☆ほ場を巡回して水が停滞する場所が無いか確認しましょう。
- ☆明きよは必ず排水路につなぐなど、円滑に排水できるように手直しをしましょう。



12/14 気象庁発表 東北地方1か月予報(12月16日から1月15日)



気温は、期間の前半は平年より低く、後半は平年より高い見込みです。

1 週目は日照時間が短く、2 週目以降は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。